

Coca-Cola
zero.

Suzuka 8 hours

2016年度 鈴鹿8耐 第39回大会
参戦における協賛のお願い



Favorite
フェイスバリットファクトリー
Factory

1. はじめに

・ 鈴鹿8耐とは

<正式名称>

『FIM世界耐久選手権シリーズ
鈴鹿8時間耐久ロードレース』

<イベント概要>

1978年より鈴鹿サーキットで開催され、第39回大会を迎える
日本最大且つ、伝統あるバイクレースであり、“真夏の8時間”
という長きに渡る時間を2名または、3名のライダーで走り続け、
周回数を競う非常に過酷なレースとなっております。

長時間にも関わらずアタック(ベストタイムを目指す)し続ける事から、
耐久スプリントレースとも云われている為、完走(※)する事自体が
表彰対象となる、非常に厳しいレースとなっております。

日本開催の世界選手権は『MotoGP』と本レースのみとなっており、
本レースにおける順位＝世界ランクである事から、世界各国の
ライダーが参戦し、世界中のメディアから注目されております。

4日間に渡る開催期間では、決勝日以外においても前夜祭にて、
ナイトピットウォーク、バイクパレード等、様々なイベントが行われ、
来場者とレースの距離が非常に近いイベントとなっております。

この4日間を『8耐ウィーク』と称して開催されている『お祭り』であり、
ロードレース界における夏の風物詩として、国内有数の集客を誇る
モータースポーツイベントとなっております。



※完走条件

- ・8時間経過後、レース終了の証となる
チェッカーフラッグを受ける事
- ・トップチームの周回数の75%以上の
周回数を走行している事

2. ご挨拶

弊チームのレース活動に耳を傾けて頂き、誠にありがとうございます。

弊チームは、バイク業界の活性化を軸に様々な活動を行っており、鈴鹿8耐参戦はその中でも大変重要な活動となっております。

この活動は、弊チームがバイク業界の雄として大きく飛躍する為、また、後述致します“バイク業界の活性化”に繋げる為に必須となる取り組みでありますので、2014年度大会より引き続き挑戦して参ります。

参戦への経緯につきましては、大きく以下二つの事が挙げられます。
一つ目は、『完全自社チーム・制作マシンでの鈴鹿8耐への参戦』は、バイク業界に飛び込んだ頃からの夢でありましたが、更なる高みを目指し、2018年度大会にて『表彰台獲得』という夢を再設定した為であります。
二つ目は、日本製のバイクは世界随一の性能を誇るものとして認知されているが、日本での認知度はむしろ年々低下しているという実状です。
この現実を真摯に受け留め、日本が世界に誇る素晴らしいバイク文化を守ると共に、バイク業界を再活性化させたいと考えた為であります。

弊チーム『個』の目標としては表彰台に立つ為、『輪』の目標としてはバイク業界の活性化、延いては、協賛メリットの拡大を実現する為、皆様と共に鈴鹿8耐に挑戦し、皆様の企業メリット授受に尽力させて頂く所存ですので、ご賛同を頂き、是非とも協賛頂けます様お願い申し上げます。

紙面では伝わらない
思いが多々ございます。
是非、直接お伝えさせて頂く機会を頂けます様、
何卒宜しくお願い申し上げます。



Team Favorite Factory
代表 三井 晋一郎

3. 実績



<Team Favorite Factory>

- 2015年(第38回)
使用マシン：SUZUKI GSX-R1000
レース結果：予選敗退
- 2014年(第37回)
完全自社チーム・制作マシンでの初参戦
使用マシン：SUZUKI GSX-R1000
レース結果：53位（全70台、完走58台）

初参戦での完走率は30%未満
転倒を含む場合では3%未満

<自社チーム以外>

- 2013年(第36回)
『HAMAMATSU 8耐 TEAM』: チーフメカニックとして参加
使用マシン：YAMAHA YZF-R1
レース結果：34位（全63台、完走50台）
- 2004年(第27回) ※過去大会における最高順位
『TEAM YOSHIHARU』: メカニックとして参加
使用マシン：HONDA CBR1000RR
レース結果：6位（全71台、完走48台）

4. 目標

・ 目標

5カ年計画における各年度の目標順位

2014年度(第37回) : 完走 『達成』

2015年度(第38回) : 30位以内 . . . 『未達』

2016年度(第39回) : 20位以内

2017年度(第40回) : 10位以内

2018年度(第41回) : 3位以内

※当年度の体制については

補足資料2～3ページに記載

・ 達成基準

目標順位を着実に獲得する事。

更には、鈴鹿8耐決勝の花火を、
協賛各位とご一緒に観覧出来る事。

※鈴鹿8耐決勝の花火について

トップ3発表直後に打ち上がる、
素晴らしい花火であり、
鈴鹿8耐決勝における
風物詩となっております。



5. 現状分析

- 獲得可能な順位：30位以内

前回大会においてはチーム体制を十分に確立出来なかった為、予選敗退となりましたが、マシン自体のポテンシャルについては前々回大会より遥かに向上させる事に成功しております。

前々回大会において、予選結果に基づいた解析結果では、転倒無くゴールを迎えた場合、26位を予想出来ていた為、2016年度は20位以内の順位を獲得可能と考えております。

- 獲得が困難な順位：10位以内

上位チームの年間予算は1億円以上といわれておりますが、弊チームは年間約1千万円でチームを運営しております。

ライダー報酬、スタッフ報酬、車両改造費、周辺機器の高機能化について、何れも10位以内を目標とするには資金及び物品調達が不足しております。

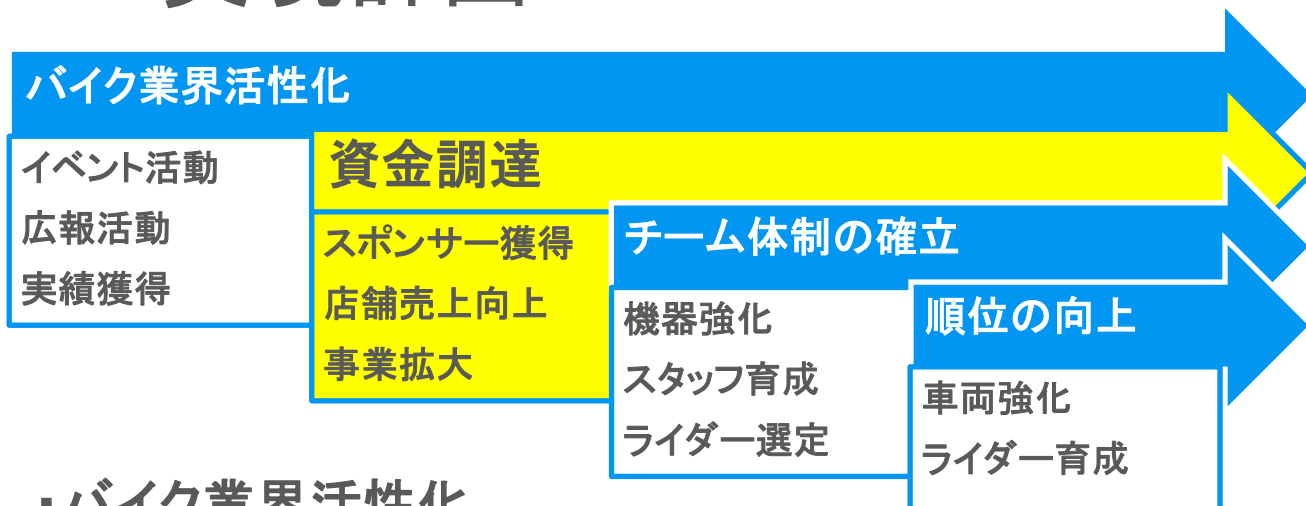
- ポテンシャルの高さ：1位

初参戦における完走率30%未満、転倒を含む場合では完走率僅か3%未満という、高く陰しい壁を乗り越えた
ポテンシャルの高さは、全チームトップと自負しております。

- 上位獲得への必須事項

弊チームのパフォーマンスを向上させる事により、上位奪取は可能ですが、ステップアップする為には、
資金調達及び、物品調達が必須となっております。

6. 実現計画



・バイク業界活性化

チーム結成理由でもありますが、バイク業界自体の活性化無しに鈴鹿8耐を含めたバイク業界の発展は見込めないと考えております。

・資金調達

鈴鹿8耐参戦チーム全てが抱えている大きな課題であり、
弊チームにおいては現状、最大の課題となっております。
当課題の解決に向け、ご協賛をお願い致しております。

・チーム体制の確立

レースにおける上位獲得の必須条件として最も重要な事は、マシン性能が高い事、ライダーの運転スキルが高い事です。特に鈴鹿8耐においては、チームワークが非常に重要となる為、弊チームではチーム総合力の強化を優先と考えております。

・順位の向上

当ステップ迄を着実に実施し、上位獲得に向けた最終計画として、車両の強化及び、ライダーの育成を計画しております。

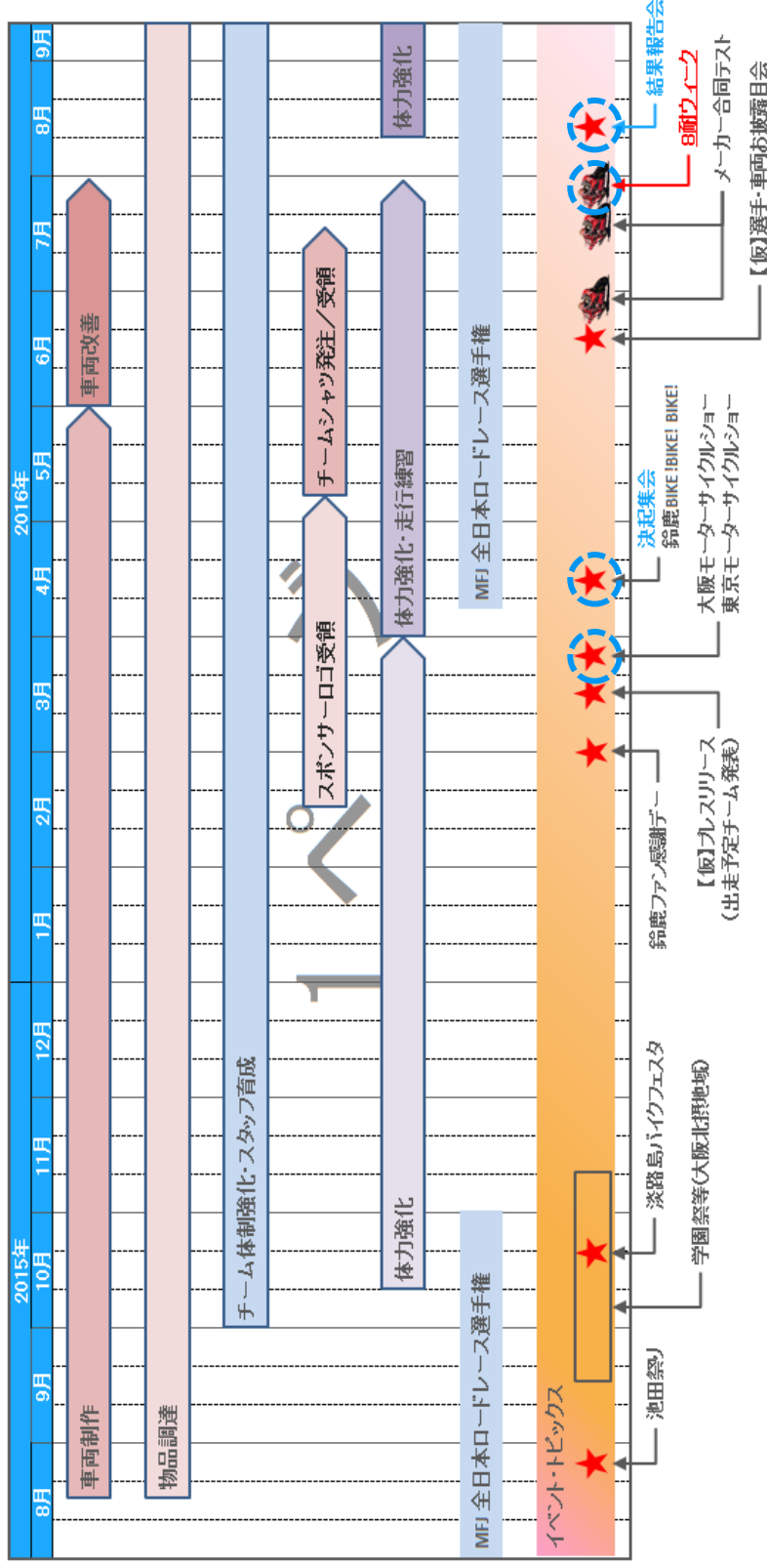
※各項目の詳細内容については補足資料4～7ページに記載

※予算については補足資料27～29ページに記載

7. 年間スケジュール

実現計画を基とした年間スケジュールは下記表の通りとなっております。

※次ページにて点線囲み部の補足説明を記載しております。



7. 年間スケジュールのご説明

- 第32回 大阪モーターサイクルショー2016

前回開催時、5万7千人の来場者数を誇り、回を重ねる毎に増加傾向にある有数のバイクイベントであり、弊チーム専属レースクイーンによる集客力は群を抜いておりました。

- 第42回 東京モーターサイクルショー2015

前回開催時、13万2千人の来場者数を誇り、大阪と同じく、増加傾向にある国内最大の屋内バイクイベントであり、各メーカーの新作発表の場となっております。

- 決起集会

協賛各位をお招きし、鈴鹿8耐に向けた決起集会を行います。
他企業との親睦を図り、一層の飛躍を遂げる糧として頂く為にも、何卒ご参加下さいます様、お願い申し上げます。

- 耐久ウィーク(レース決勝)

当企画において、弊チームが結果を示すメインイベントであり、
4日間のイベントを通じ、協賛各位が協賛によるメリットを享受頂ける様、弊チームの総力を結集して立ち向かう所存です。

- 結果報告会

レース結果報告及び、次回大会に向けた抱負の発表を行います。
決起集会同様、他企業との親睦を深める場となりますので、何卒ご参加下さいます様、お願い申し上げます。

上記イベント以外に、協賛各位への催事に参加させて頂き、鈴鹿8耐、弊チームの知名度向上を図る計画をしております。
(行政と連携し、地域祭典や学校の文化祭にてPRを行う等)

※各イベントの詳細内容及び、その他の年間スケジュール
についての詳細内容は補足資料8～26ページに記載

8. 協賛メリット

ご協賛頂く事により、以下のメリットを享受頂けます。

企業イメージ・認知度の大幅な向上

耐久レース最高峰に位置する鈴鹿8耐のイメージである、チャレンジ精神・不屈の精神というイメージを、今後の日本経済発展に不可欠なイメージとシンクロする事により、企業イメージの向上に繋がります。

また、鈴鹿8耐に向けて弊社チームが様々な活動をしていく事で、新聞、雑誌といった紙面媒体、SNSを中心とするWeb媒体等、各種メディアに露出する事により、認知度の大幅な向上に繋がります。

他業種とのコネクション獲得

他業種とのコネクションを獲得し、コンタクトを図る事により、新たなビジネスチャンスを得る事に繋がります。

例えば、協賛企業の催事へ参加してPR活動を行い、継続可能な受注を獲得する等、各位のご意向次第となりますが、弊社チームとして可能な限りサポートさせていただきます。

新規マーケット開拓／マーケットリサーチ

若年層を始めとする幅広い年齢層に対し、商品／サービスのアピールが可能である事から、新規マーケット開拓に繋がると共に、マーケットリサーチを行う事が可能となります。

商品開発

例えば、試作品のモニターとして弊社チームスタッフをご提供させて頂き、レビュー報告、改善案のご提案をさせて頂く事で、商品開発に繋がります。

社会貢献

社会福祉活動(鈴鹿8耐 風の会)を支える事で、社会貢献に繋がります。

9. メディア露出 [DVD]

鈴鹿8耐における弊チームの映像がDVD化され、雑誌『MOTO Addicts』付録DVDとして販売されます。

撮影内容としては、弊チームを主とする5チームにスポットを当て、予選・各日ピットウォーク・前夜祭・決勝での活躍を収めると共に、他チームとは異なる手法で、映像を見た方の印象に残る形で協賛企業様のロゴを紹介する予定としております。



9. メディア露出[紙面]

弊社記事が下記の紙面媒体に掲載されており、
各紙面媒体でのアピールが可能です。

弊社が得意とするカスタム系雑誌『カスタムピープル』(以下、CP)
においては、最低2ヶ月に一度、1～4枚程度の商品掲載枠、
毎月1/4枚の広告掲載枠を持っております。

前回大会では、弊社チーム専属レースクイーンが公式プログラムの
中央を飾っていると共に、CPにおいてはカラー4ページに渡る
特集記事が掲載されております。

また、CPにおいては5月～8月の各月にて弊社チームにおける、
鈴鹿8耐関連記事(挑戦理由・見所の紹介、8耐ウィーク模様等)
及び、純広告を見開き2ページの掲載を予定しております。

公式プログラム



カスタムピープル



ガールズバイカー



レディスバイク



ギャルズ・パラダイス



その他雑誌



9. メディア露出[Webサイト]

弊社記事が下記のWebサイトに掲載されており、各Webサイトでのアピールも可能です。

前回大会にて、弊社チーム専属レースクイーンがスポーツ誌、鈴鹿8耐特設ページに掲載されております。

“鈴鹿8耐”をキーとした場合、新聞紙各社のWebニュース版、『YouTube』等の動画サイトにも掲載されております。

また、弊社の取組みとして、プロモーション動画の作成、弊社ホームページに鈴鹿8耐 特設サイトの設営及び運営、facebook等の主要SNSを運営する事で情報の拡散が可能です。

特設サイトではロゴ、他チームでは見られない3行紹介文を掲載し、Web検索対象としてヒットする可能性の向上に貢献致します。

デイリースポーツ



<http://www.daily.co.jp>

鈴鹿8耐特設ページ



<http://www.suzukacircuit.jp/8tai>

その他Webサイト



弊社ホームページ



<http://www.favorite-factory.com>

facebook



<https://www.facebook.com/FavoriteFactory>

アメーバブログ



<http://ameblo.jp/favorite-factory-1029>

10. 鈴鹿8耐 風の会

鈴鹿8耐ではレース活動のみならず、社会貢献活動の一環として、無料で鈴鹿サーキットをタンデム走行するという活動があります。当活動の主催組織『風の会』について、少し触れさせていただきます。

『風の会』とは、代表である水谷勝氏が、コースにて足の動かない方を乗せて走行した際、コーナーを曲がる度に、動かない筈の足に力が入っている事を感じ、リハビリの一環になるのでは？という思いから、もっと多くの身障者の方にも『風』を感じてもらいたい。

また、バイクに興味のある方、ない方問わず、純粹にその『風』に触れてもらい、バイクの楽しさを少しでも理解してもらえる様、先ずは触れる機会を提供したい。

そして、2輪・4輪の立場をお互いに理解し合って交通事故の減少を目指したいという思いから、2002年よりタンデム走行活動を継続して実施しているボランティア組織です。

素晴らしい活動であり、鈴鹿8耐同様、当活動の認知度を向上させ、『風の会』が目指す思いの実現に向けて、弊チームとしても全力で協力したいと考えております。



11. お問い合わせ

店舗『Favorite Factory』 (フェイバリットファクトリー)

<住所>

大阪府豊中市清風荘1丁目15-6

<TEL/FAX>

06-4866-6000/06-4866-6030

<Mail>

321@favorite-factory.com



<URL>

<http://www.favorite-factory.com>



<特設ページ>

<http://www.favorite-factory.com/8tai>

